

留学を終えて

恵那高等学校 松岡 芙美（アメリカ）

留学を成功させるという決意を持って留学に臨んだ私でしたが、留学で得た経験は「成功」という言葉だけでは表せないようなものでした。

元々人見知りだったので、友達作りには苦労するだろうと思っていましたが、わざわざ電話番号を交換して困ったときに連絡してとってくれたり、隣の席の子に質問すると丁寧に教えてくれたりしました。アメリカの人たちはとても温かくて驚きました。

それでも言葉の壁もあって友達作りには苦戦し、2ヶ月ほど友達はできませんでした。しかし、あるクラスでたまたまペアになった子と意気投合して、一緒に昼休みを過ごすようになりました。その子の紹介で友達がどんどん増えていき、いつも励ましてくれる友達、姉御肌の面倒見がいい友達、いつも私を見つけると駆け寄ってきてくれる明るくて元気な友達など、本当によい友達に恵まれたと思います。最初の友達とはとても仲良くなり、今でも連絡を取り合うほどです。

ホストファミリーにも本当に恵まれたと思います。最初、私は人見知りをしてしまい、ホストファミリーに心を開くことができていませんでした。ホームシックもかきなり、部屋に閉じこもる日々が続きました。このままでいけないと思い、現地コーディネーターの方に相談したところ、ホストファミリーに心の内をうちあける場を設けてくださり、結果的にお互いの距離が縮まりました。ホストマザーは忙しい中、土日に時間を見つけて私を連れ出してくれては、タピオカ屋さんに行ったり、サクラメントに行ったり、ショッピングに行ったり、映画に行ったり、ホストファミリーのおばあちゃんの家連れていってくれたりしました。時々ショッピングに行くときも私だけアジア系の顔立ちをしているため、よく店員さんが不思議がって私のことをホストマザーに聞くこともありましたが、そんなときは必ずホストマザーは私のことを「私の娘よ」といってくれるのが本当にうれしかったです。アメリカ到着後3日間だけ受け入れてくれた最初のホストファミリー、そして突然だったにもかかわらず私を快く受け入れてくれた後のホストファミリー、どちらも私を温かく受け入れてくれました。そんなホストファミリーの元で過ごせた1年間は私の一生の思い出です。

親身になって相談に乗ってくださり、いつも私のことを気にかけてくださったJFIEの現地コーディネーターの方、そして何より、私の留学を後押ししてくださった岐阜県の方に心よりお礼申し上げます。今後は、たくさんの人に留学に興味を持ってもらえるように、私の経験を話したりして、後に続く人たちの道標となれるような存在になりたいと思います。